

FUPPARI TIMES

THE NEWSLETTER OF THE SEASON

吹張 犬っこまつり

恒例



「吹張犬っこまつり」は町内の皆様方のご協力のおかげで、今年もまた開催することができました。町内の皆様にはたくさんの「犬っこ」「お堂っこ」を作って頂き、恒例になった午後6時からのロウソク点灯式も、また吹張町内をメルヘンの世界へと誘いました。湯沢市の「犬っこまつり」が中止になったこともあり、昔ながらの町内の「犬っこまつり」が今年も魁新聞に掲載されたことは、大変嬉しく思っております。「もっとロウソク、お堂っこや犬っこの数をもっと増やそう」との声も聞かれ、来年も盛大に灯りを灯せることに期待して、町内親睦の良いお祭りとして継承していければと思いますので、皆様方からのますますのご協力をお願い申し上げます。





令和4年愛宕神社初祭り

令和4年2月24日（木）愛宕神社初祭典 午前11時より
 新型コロナウイルス感染症鎮静化祈願祭も併せて社殿にて斎行されました。
 神事が始まると同時に吹雪で、神殿の畳がまた雪で白くなりましたが、無事終了斎行する事ができました。今年も直会はコロナ過で中止となりましたが、一日も早い鎮静化をとの願いを込めて疫病退散の御札を頂いてまいりました。町内の皆様方にお配りして頂きますので、新しい御札を玄関前に貼って頂きますようお願い申し上げます。

大鎮守愛宕大神五穀豊穡
 火災疫除祈願攸



「犬っこまつり」は中止でも
家々で雪像に明かり
 吹張町 幻想的な雰囲気
 吹張町の吹張地区の住民が、12月14日、家々の前に雪で犬やお堂を作り、中にろうそくを入れて火をともし、町中で12月15日に行われる予定だった「犬っこまつり」は中止となったが、地区内の約10世帯のうち多くがともった雪のお堂を見る住民
 吹張町内会が独自に雪の犬やお堂を作り、点灯を行っている。犬っこまつりは、米穀で作ったしん粉細工の犬を正月の時に家々の入り口や窓に供え、縁よけとした風習が起源。この日は地区の住民が作った個性のある雪の犬やお堂が沿道に並んだ。中の穴にお札や
 犬のしん粉細工を置いたほか、午後8時ごろにはろうそくに火をともし、一帯が幻想的な雰囲気に包まれた。吹張町内会は数年前からお堂作りを行い点灯している。奥山忠平町内会長（右）「印刷所経営」は「一緒に火をともし」ここで地域のつながりを感じられる。毎年、住民が楽しみながら自主的に参加してくれてうれしい」と話した。（横文書）

3月3日は ひな祭り

だんだん春がちかづいてきているような予感!



吹張ホームページ <http://www.yuzawa.site/fuppari>



■ フッパリタイムズはPDFファイルにてホームページにもアップロードしています
 吹張町内皆様方のコミュニケーションのお役にたてればと、情報誌「Fuppari Times」（フッパリタイムズ）は「春の号」2月、「夏の号」5月「秋の号」8月、「冬の号」11月と、春夏秋冬発行して行きます。今後も皆様より広く情報を頂き、紙面にたくさんの笑顔をお届け出来ればいいなと思っておりますので、どんな情報でも結構ですでお気軽にお問い合わせください。
 誌面はコミュニティー事業の補助金で作成しています 編集企画：奥山 忠平 携帯 09058303132